

【瑞浪市学校教育における教育指導の重点】

【研修】

主体的で確かな指導力を身に付ける研修
○特別支援教育、ICT 教育に関わる研修の充実

【教科指導】

学力向上に向けたきめ細かな指導の推進
○「主体的・対話的で深い学び」を視点にした授業改善
○タブレット端末を効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を図る実践の開発

【瑞浪小学校の教育目標】

じょうぶでよく働く子 仲よく助け合う子 進んでよく学ぶ子

【児童の実態】

○課題解決に向かって見通しをもち、意欲的に取り組むことができる児童が多い。
○仲間との対話を通して、自分の考えを広げたり深めたりできる児童が増えてきた。
○自己の学びをふりかえり、次の学びへ生かそうとする児童が増えてきた。
▲課題解決への見通しをもつことができても、そこから解決方法を選択・決定して追究できる児童は少ない。

【めざす児童の姿】

・問いや願いをもって課題に向かい、教科の見方・考え方を働かせ、解決の手段を自ら選択・決定して追究する姿。
・仲間と対話する中で、確かめ合ったり異なる考えを組み合わせたりして考えを深め、よりよい学びを生み出す姿。
・自己の学びを振り返り、伸びや変容、教科のよさを実感し、次の学びにつなげる姿。

【全校研究主題】

問い、続ける子

～学び方を身に付け、課題解決に向かう児童の育成～

【研究仮説】 児童の発達の段階に応じた学び方や教科の見方・考え方を明確にした単元・題材指導計画をもとに、問いや願いを明確にもつための導入を工夫し、個の学びと協働的な学びを往還しながら追究する学習過程を仕組むとともに、児童の実態に合わせた支援を行い、自己の学びを振り返ることで、伸びを実感し、次の学びに生かすことのできる「問い続ける子」となる。

研究内容2

単元・題材指導計画の工夫

① 発達の段階や教科の特性に応じた学び方の

明確化

・発達の段階や教科の特性を基に、単元や単位時間で重点とする学び方を明確にする。

② 教科の見方・考え方の明確化

・単元・題材を通して働かせたい教科の見方・考え方を明確にする。

研究内容3

指導・援助の工夫

① 学習過程の工夫

・課題解決に向けて、個の学びと協働的な学びを自ら選択して追究できる指導過程を工夫する。

② 児童が選択・決定し、自己調整するための工夫

・児童の学びを実態に合わせた最適なものにするための指導方法や学習時間等を工夫する。

③ ふりかえりの工夫

・自己の学びを振り返り、自己の伸びを実感したり、次の学びに生かしたりすることができるようにする。

研究内容1

発達の段階に応じた学び方の体系化

・低、中、高学年の発達の段階や、教科の特性に応じた個と協働的な学びの在り方を体系化する。